

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

奥の細道
むすびの地



令和五年三月度 入賞句一覧

投句数 四百九十六句

特選

長野 美代子 選

爆づる音つなぎ繋ぎて野火走る

大垣市

村田 通夫

野焼きとは、早春の晴れた穏やかな日に、土地を肥やし、害虫を駆除するため、野や土手などを焼き払うこと。焼畑農業の一種でもあります。大量の煙が出るため、平成に入りあまり見ることはありません。野焼きを見て春が来たことを感じた幼い頃を思い出します。

蝶舞ふや言葉伝えているやうに

三重県四日市市

後藤 允孝

菜の花の黄色の中を忙しげに蝶がとびまわっています。何か言付けでもしているように。去つては又来てかわいいですね。私も聞きたいです。春らしくて心のみます

渴筆のやうな老木梅三分

岐阜市

廣瀬 あや子

きつとお屋敷の梅の木でしょうね。芸術作品でも見ているような俳句ですね。絵画を見ている感じがします。表現が上手ですね。感心しました。

秀逸

伊吹から風花届く虚空かな

各務原市

桑原 緑

したたかに又しなやかに枝垂梅

大垣市

高津 喜久子

干すによき風や若狭の蒸鯨

福井県敦賀市

山田 美千代

石蓀のささやくやうに花こぼす

三重県四日市市

井戸 康子

左義長の煙おちこち美濃の里

養老郡養老町

松永 智志

琵琶湖から風引き寄せる懸大根

瑞穂市

谷 牛歩

歴代の欠けし土雛寄り添わす

神奈川県相模原市

中村 光枝

雪明り授乳の妻の丸き影

兵庫県豊岡市

辻井 一路

抜け駆けなんぞ当たり前だの猫の恋

三重県四日市市

藤田 勝民

夕散歩花閉ざしそむ犬ふぐり

滋賀県大津市

近江 董花

入選

雨の粒梅の蕾を光らせて
 置き初めし絵の具の色も春隣
 我が病めど紅梅今年も力あり
 寺の塀辛夷の花の直立す
 春眠に貸す肩降車までの刻
 屋形船堀を巡りて春炬燵
 飾りつつ姉のことなど古雛
 やつとかめ長閑にひびく岐阜の里
 朝日さす鈴鹿の山の凍連ね
 踊ること風花の舞う物干場
 触るる手を咎められたり吊し雛
 ポチと一緒に今朝の新雪踏みに行く
 アンテナで寒空揺らす鳥かな
 父の押す子の鞆の高すぎず
 庭石も温みを増して蔭の臺
 下萌や振ればヒツトの草野球
 マスク取り初顔ですとひな壇に
 春雨の湿り気残す駅舎かな
 新しき道へ行く背に春疾風
 解けざる固き結び目余寒なほ

一般の部

不破郡垂井町 大羽 志風
 不破郡垂井町 川瀬 慶泉
 不破郡垂井町 傍島 法苑
 大垣市 樋口 絹子
 養老郡養老町 田中 紫香
 京都府宇治市 八田 弥須子
 安八郡神戸町 大槻 恭子
 岐阜市 村瀬 充夫
 滋賀県甲賀市 奥村 僚一
 大垣市 岡田 幸子
 大垣市 吉田 てるみ
 神奈川県川崎市 佐藤 廣枝
 群馬県館林市 坂口 いちお
 大阪府東大阪市 森 佳月
 千葉県八千代市 菅野 三男坊
 京都府京都市 石田 吉之助
 不破郡垂井町 せんだ よしまさ
 兵庫県高砂市 川西 智子
 愛知県犬山市 紅紫 あやめ
 岐阜市 堀江 美州

選者吟

麦三寸美濃の山風吹き曝す

美代子

